

「自立支援介護」の取り組み

1 「自立支援介護」の取り組みについて

職員全体で「おむつ外し」という大きな課題に取り組む姿勢により、目指すべきケアの方向性を明確にし、専門的援助・介護の課題解決への意識付と強化したケアの取り組みを行うために、多職種と連携協働し、職員個々に意識をもって利用者が自尊心を失うことなく、施設生活を行う自立支援を援助する活動を行います。

① 活動の目的

- ・認知症の軽減と利用者の人格を尊重した、自立生活を続けられる支援を行います

② 活動の目標

- ・中長期的による、水分摂取増への支援とトイレで排泄（排便）すると云う一連の流れをつくり上げます

③ 活動内容

- ・水分摂取を強化し、栄養状態を向上（適正状態）させ、「立つ」・「歩く」を行う機能訓練による、トイレで排泄（排便）する取り組みを行います
- ・認知症の軽減と、水分強化・栄養状態の向上によりおむつ外しに繋げます

2 「自立支援介護」の取り組み実践について【水分・食事・運動・排泄】

① 利用者の水分並びに食事支援について

- ・水分摂取強化の取り組みについては、利用者個々の様態や摂取状況の分析不足等の課題はあるが、健康維持・増進の観点から現状の支援を継続しつつ、個別な課題対応への取り組みを行う方針とします。
- ・食事摂取強化の取り組みについては、利用者個々の様態や口腔機能（口腔・咀嚼・嚥下など）の課題を整理しながら現状の支援を継続しつつ、個別な課題対応への取り組みを行います。

② 個別の排泄に関する取り組みについて

- ・排泄（排尿・排便）に関するアセスメントにより、個別に便座に座る運動機能、排泄周期と座薬による様態を把握する試行を継続しつつ、排泄ケアに関する理論のもと個別な課題対応への取り組みを行います。

③ 機能訓練及び運動について

- ・利用者個別機能訓練一覧による機能訓練と運動実施評価は継続しつつ、排泄のケアに関する理論のもと排泄支援と便座に座る運動機能について個別にアセスメントし、機能訓練及び運動ケアの方針を立てる事とします。